

ながぬま



稲刈り作業

— 13区 有限会社 富澤農場 ほ場 —

販売部 令和6年産 『ながめま米の館』操業開始

9月3日、令和6年産米の荷受作業を開始しました。

昨年より3日早いスタートとなり、「ななつぼし」「ゆめぴりか」などを受け入れました。

また、本年も引き続き「食の安全・



安心・信頼性確保」に向けて、品別のDNA鑑定や残留農薬の検査、カドミウム分析を実施し、より安全性の高い玄米を提供してまいります。

販売部 JANAながめま青果物 JAL共催販促イベント開催

8月24日から25日の2日間に渡り、関西地区を中心に157店舗を展開する量販店チェーン平和堂において、この度JALの協力をいただき販促イベントを開催。

関西地区の量販店としては今回で3回目の取組みであったこともあり、消費者の反応は非常に良く平和堂本社に消費者から感謝の電話が入るなど大好評をいただきました。



兵庫県尼崎市の大型商業施設「平和堂アル・プラザつかしん」にて、朝採りコーン・ブロッコリー・トマト・フルーツトマト・長葱の5品目を朝一番のJAL便にて空輸し、その日の午後1時にイベント開催店舗に到着。即座に陳列しJAL社員が販売ブースに立ち長沼産野菜を販売しました。

航空会社との連携によるこのよう

な販促イベントは

米作研究会 『町内現地研修会』

9月2日、米作研究会の現地研修会が会員9名参加のもと開催されました。

会員それぞれが稲株を持ち寄り、良質米生産に向け適期刈取時期を確認しました。また、ほ場視察も行い意見交換の場を設け有意義な現地研修会となりました。



ながめま農協年金友の会 ゲートボール大会開催

9月12日、第26回ながめま農協年金友の会ゲートボール大会が、ながめま温泉屋内ゲートボール場で開催されました。

参加者20名による4チーム対抗のリーグ戦が行われ、日頃の練習の成果を発揮すべく熱戦が繰り広げられました。

成績は次の通りです。

優勝 鵜野チーム
準優勝 中野チーム



大豆採種組合 第2期ほ場審査実施

9月20日に第2期ほ場審査が実施されました。収穫に向けての注意点などを普及センターの普及専門主任と森主査から確認をいただきました。採種組合の方々が生産された種子は、調整や根粒菌加工などを経て皆さんのもとへ配送されます。



第2期ほ場審査

農協決算報告

事業の概況

令和6年度上半期事業の概要を報告いたします。

本年の融雪期は3月30日で平年より4日遅く、積雪期間は108日で平年よりやや長くなりました。4月、5月の降水量は平年よりやや少なく、気温は平年よりやや高く推移し、春作業は滞りなく進みました。7月中旬は少雨で経過し、7月～8月は30℃を超える日が14日(猛暑日35℃以上・1日含)となりました。7月下旬、8月下旬に集中的な降雨があり、一部作物の生育や農作業に影響がみられたが、天候は総じて順調に推移しました。

水稻では、は種作業は平年並で、出芽は良好で揃いも良好でした。出芽期は平年並でした。

育苗期間後半は、高温、多照で大苗傾向でした。移植期は、平年並の5月20日でした。5月15～20日の移植では、移植後の高温・多照で活着が促進されました。活着期および分けつ始は平年並でそれぞれ5月26日、6月5日でした。6月上旬の低温のため分けつが抑制され、一時茎数は少なかったが、6月中旬からは高温に転じ、分けつは旺盛となりました。高温・多照のため生育が進み、幼穂形成期は平年より2日早い6月29日、出穂期は平年(7月28日)より4日早い7月24日となりました。成熟期は平年(9月11日)より8日早い9月3日となりました。一穂粒数は平年並ですが、総粒数は平年よりやや多いことから、収量は平年並～やや良の見込みとなっております。

小麦については、起生期は3日遅くなりました(4月3日)。その後は気温が高く推移したため、幼穂形成期は4日早くなりました(4月26日)。5月以降も気温が高く推移し、出穂期は4日早くなり(5月27日)、成熟期は6日早まりました(7月9日)。越冬後から茎数はおおむね平年並に推移し、穂数も平年並であったが、1穂粒数、千粒重は平年よりも多くなりました。雪腐病の発生は平年並でしたが、赤さび病や赤かびの発生は比較的少なかったです。

大豆については、は種は平年よりも2日遅く始まり、は種期も2日遅くなりました(5月21日)。は種後の適度な気温と降雨により出芽期は1日遅くなりました(6月5日)。6月からは気温が高く推移し、開花期は3日早くなり(7月11日)、その後は4～5日早くなっています。登熟はやや緩慢になっており、着莢数は平年をやや上回っています。

主な事業内容は下記の通りであり、各事業の目標達成に向け積極的な事業推進に努め、組合員経済の安定向上と農業経営に万全を期してまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

信用事業

区分	上期末残高	前年対比
貯金	39,914,207千円	161,556千円増加
貸付金	長・短期	217,767千円減少
	受託資金	279,543千円減少
	計	497,311千円減少

共済事業 (生命・終身・こども・建更・年金)

区分	上期末保有高	前年対比
保障額	68,147,390千円	1,533,850千円減少

販売事業

区分	上期末取扱高	前年対比
米	284,917千円	14,709千円増加
小麦	49,349千円	17,977千円減少
豆類・その他	88,932千円	29,221千円増加
園芸	1,551,315千円	220,112千円増加
酪畜	1,201,534千円	161,951千円減少
計	3,176,048千円	84,114千円増加

営農資材事業

区分	上期末取扱高	前年対比
肥料	514,389千円	127,479千円減少
その他資材	1,496,170千円	110,713千円増加
農機具	320,396千円	174,282千円減少
計	2,330,955千円	191,048千円減少

消防避難訓練を実施

9月10日、消防法施行令により2回の消防訓練の実施が義務付けられていることから、本所事務所・Aコープながめま店、本所生産資材事務所において通報・避難訓練と消火



訓練を行いました。火災報知器の非常ベルを鳴らし、火元の確認、初期消火活動、消防署への通報と事務所・店舗内での避難誘導の訓練を実施しました。また、消火訓練では株式会社ユニニ商会の指導により水消火器を使って消火作業を行い、万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。

JAへの就職希望者100%就職 (令和5年度実績)

令和7年度 第2回学生募集

- 定員40名 ● 男女共学 ● 1カ年 ● 寮完備(個室) ● 通学制開始
- 受験資格：満27歳未満(令和6年4月1日現在) / 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：12月7日(土)
- 願書受付：10月1日(火)～11月22日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

令和7年度より
通学制開始

JAグループ職員養成校
JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417

JAカレッジ

(1) 排水対策

排水不良地では降雨や融雪水が滞水し、窒息による枯死や雪腐病の発生を助長させます。融雪水が停滞しやすい場合は、速やかに排水できるよう溝切りなどの排水対策を実施しましょう。

(2) 農薬による防除

根雪始に近いほど防除効果が高まりますが、降雨等により防除ができなくなる可能性もありますので、残効性に優れる薬剤で少し早めに防除を実施しましょう。スプレーヤによる防除が実施できるように事前に防除通路を踏み固めておくことが必要です。また、防除はなるべく天気の良い日中に実施しましょう。

【散布時期の目安】11月上旬～11月中旬

【参考】近年の根雪始 令和2年12月14日 令和3年12月18日 令和4年12月1日

4. 雪腐病とコムギなまぐさ黒穂病の防除

雪腐病と合わせてコムギなまぐさ黒穂病防除を実施しましょう。

(1) 100ℓ/10a 散布 主な防除薬剤

農薬名	適用病害	倍率 (10a 散布水量)
フロンサイドSC	コムギなまぐさ黒穂病 大粒菌核病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	1000倍 (100～150ℓ) 地際まで十分散布
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	1000倍 (100ℓ)

(2) 無人ヘリ・ドローン等の空中散布 主な防除薬剤例

農薬名	適用病害	倍率 (10a 散布水量)
フロンサイドSKY	コムギなまぐさ黒穂病 大粒菌核病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	8倍 (0.8ℓ) または 16倍 (1.6ℓ)
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	8倍 (0.8ℓ)

※「フロンサイドSKY」購入使用にあたっては、別途「安全使用同意書」の提出が必要です。

※排水性悪い畑、転換畑は、「褐色雪腐病」の発生が予想されるので、ランマンフロアブルを混用しましょう。

※フロンサイドSCおよびランマンフロアブルの効果低減の目安
散布後から根雪までの降水量 (合計) 120～150mm

10～11月のポイント 秋小麦栽培



1. 秋施肥

大豆間作小麦栽培では、大豆収穫直後に窒素成分で3～4kg/10aを目安に施用しましょう。

主な施肥例

肥料銘柄	10a 施用量 (kg)	施用窒素量 (kg/10a)
BB082M	30～40	3～4
ワイドユース450 ※1	20～30	2.8～4.2
硫安 ※2	15～20	3.2～4.2

※1 ワイドユース450は予約注文品

※2 土壌診断結果より「リン酸・加里」が診断基準より高い場合

2. 雑草対策

イネ科雑草および広葉雑草処理を10月中旬までに実施しましょう。

処理が遅れると除草効果が劣り、越冬した雑草には、春の除草剤処理では効果が劣ります。

主な除草剤

対象雑草	農薬名	使用時期	10a 当り使用量 (散布水量)
イネ科雑草	トレファノサイド乳剤	小麦出芽～3葉期 (イネ科雑草1葉期まで)	200～300ml (100ℓ)
広葉雑草	エコパートフロアブル	小麦2～4葉期 (広葉雑草2～4葉期)	50～75ml (100ℓ)

※エコパートフロアブル・・・展着剤は薬害を助長する恐れがあるので加用しない

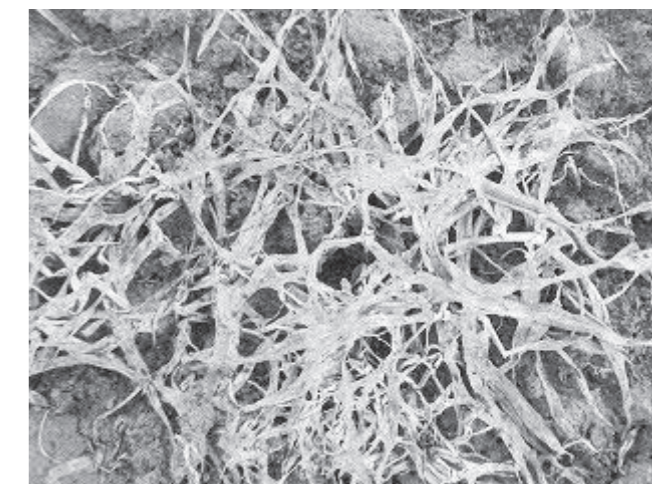
※小麦2～3葉期は、トレファノサイド乳剤とエコパートフロアブルの同時処理が可能です。

3. 雪腐病対策

雪腐病は融雪後の生育遅延や茎数の減少を招き、収量・品質を低下させます。長沼町では、主に紅色雪腐病・褐色小粒菌核病による雪腐病が多いです。

近年は黒色小粒菌核病の発生により被害を受けているほ場がありました。

以下の対応および防除を実施しましょう。



雪腐れにより枯死、黒色の小粒が多数見える

収穫後のほ場管理と土壌診断の実施のポイント

1. 水田のほ場管理

水稲収穫後のほ場管理は翌年の作業性を改善するだけでなく、収量・品質を高めるためにも重要です。今年は平年より収穫作業が早いので、以下の事項をぜひ実施しましょう。

(1) 稲わらの搬出

稲わらの焼却は、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因にもなりますので絶対に行わない。どうしても稲わらの搬出ができない場合でも、そのまま放置せず、できるだけ早い時期に土壌表面に混和しましょう。

(2) 排水改善

ア 溝掘りて表面排水の促進 イ 心土破碎の施工 ウ 排水路の清掃

(3) 畦畔の補修

冷害軽減に向けた深水管理や施肥・除草剤の効果を維持するためには、十分な畔高を備え、漏水対策をしっかり行うことが重要です。畦塗りなどの補修を行いましょう。

2. 畑地のほ場管理

(1) 収穫残渣物処理と雑草対策

収穫残渣物は、速やかにほ場搬出し、残渣物は浅めにすき込みます。雑草発生ほ場では、残渣物すき込み10日程度の後、雑草発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2) 排水改善

排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破碎、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

3. 土壌診断の実施

高品質農産物の安定生産と施肥の適正化に向け、土壌分析結果や今年の生育を参考し、ほ場ごとの適正施肥へ、土壌診断を3年に1回以上は行いましょう！

◎水稲育苗床土 基準pH4.5～5.0

◎水田土壌 基準pH5.5～6.0

◎畑作物土壌 基準pH5.5～6.5

土壌診断によりpH確認し、炭カルなどでpH改善しましょう。

※ 目標pH6.0矯正への炭カル施用量 (kg/10a 改良深10cm)

測定値 (pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	86

※アレニウス氏表による酸性矯正より（腐植程度：含むの場合）

多項目の土壌分析診断については、JA助成（1戸10点まで）を活用しましょう。

土壌診断用の土壌は、11月上旬までにJA資材センターへ提出しましょう。

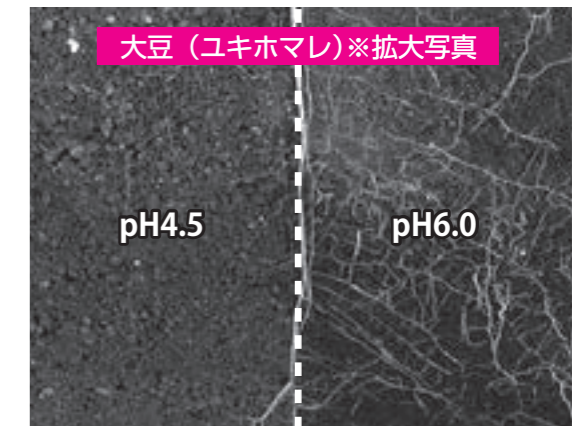
土壌診断を活用した適正施肥の推進について

土壌診断の果たす役割は、大きく二つあります。一つ目は、作物の生育不良の原因究明、二つ目は、水田・畑を正常な状態に維持管理する指標としての役割です。

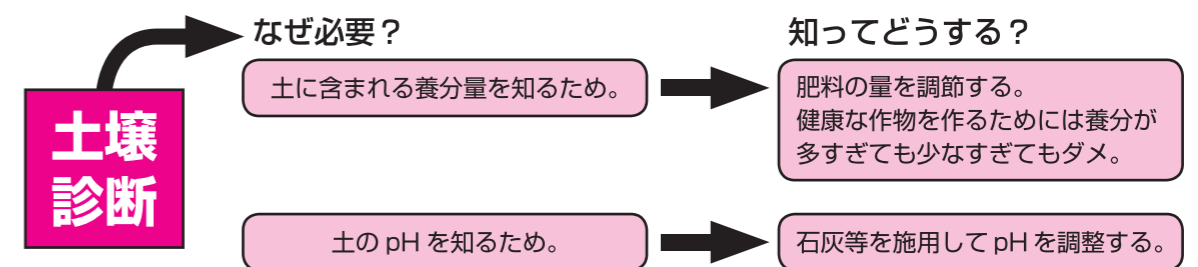
前者が緊急を要する対策診断に対して、後者は、人間の健康診断のようなもので、定期的に健診して悪い所をあらかじめ是正する予防的な診断です。

すなわち、定期的に土壌診断を行って、土壌改良や施肥改善に結びつけ、効果的・効率的な施肥及びほ場管理記録としてコスト低減につなげるうえでも必須改善事項です。

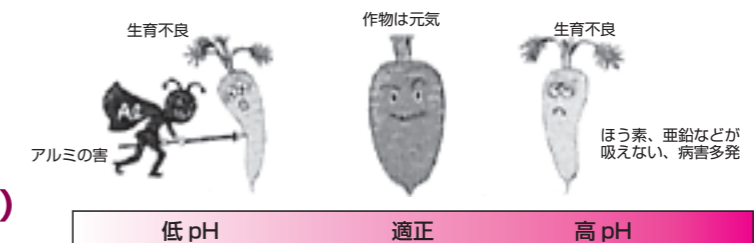
令和5年実施の診断結果では、畑地の3割が基準値（pH5.5）より低く、酸度（pH）矯正が必要なほ場が多い事が伺えます。そのため、JAでは引き続き、土壌診断に係る費用の助成をおこなってまいります。



土壌pHの違いによる根の生育状況



最低限 pH は 確認しましょう (pHは土の健康のバロメーター)



期間 令和4年度から令和6年度までの3カ年

実施方法

- 土壌診断申込書とともに土壌分析試料を営農資材課へ提出してください。
※土壌診断申込書及び土壌分析試料サンプル袋は、北長沼支所、営農資材課、舞鶴事業所でお取り寄せください。
- 「ホクレンくみあい土壌分析センター」で実施します。（診断結果は、申し込みからおよそ1カ月）
※混雑状況により診断結果がでるまでにおよそ2カ月以上かかる場合もあります。
- 対象作物：水稲、畑作、野菜・花き（露地・ハウス）等
- 基本分析費用 2,200円/1点（税込）

助成内容

一戸当たり（正組合員）年間10点を上限に基本分析費用を助成

問い合わせ先

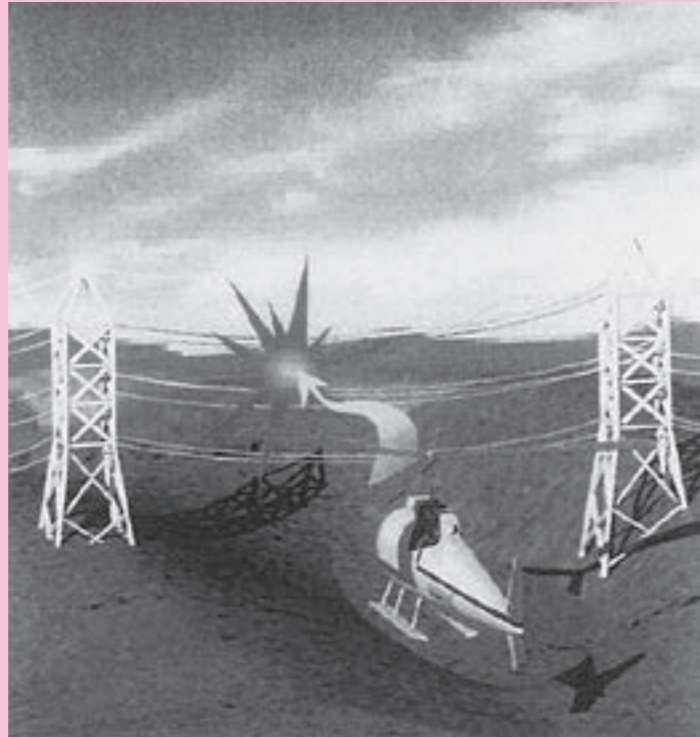
営農企画課 TEL 88-2226 営農資材課 TEL 88-2407

ドローンなどによる 電線接触災害防止のお願い

水稻の病虫害駆除など、ドローンやラジコンヘリによる空中からの薬剤散布は簡便で効果的なため、各地で実施されております。

しかし、たいへん残念なことに、散布中に電線に接触するなどのトラブルや、これにともなう停電事故も発生しております。

電線付近でドローンやラジコンヘリを操縦される際は、皆さまの安全のためにも、機体と電線との完全間隔を十分にとり、安全に操縦されますよう、お願いいたします。



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて 東野ひでき氏の主張と人柄紹介

我が国の農業・地域社会を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。超高齢化社会の到来による人口の減少や、国際情勢の不安定化、地球温暖化による気候変動、環境問題への関心の高まり等のなか、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正されました。生産現場においては、担い手や農地面積の減少による生産基盤の脆弱化、肥料・飼料・燃油など生産資材の高騰等により、今なお先が見えない不安が広がっております。今こそ、農業者やJA役員さらには地域住民が将来にわたり希望の持てる食料・農業・農村政策の確立が不可欠であると考えます。今後、皆様のところにできるだけ多く足を運び、真摯に皆様の声に耳を傾け、より理解を深め、生産現場の思い、JAグループのその声を国政に届けなくてはならない、その使命感に今みち溢れております。また、努力を惜しまない覚悟であります。専業農家、JA組合長としての経験を生かし、『農業者・JAとともに、まっすぐな農政!』を合言葉に、農業者および地域が夢や希望を叶えることができるよう、全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

- プロフィール
昭和46年11月、名寄市生まれ。
名寄高校、拓殖大学北海道短期大学(農業経済科)卒業後、稲作農家の5代目として就農。
平成15年 風連町農協 青年部長、
平成21年 JA道北なよろ 理事、
平成27年 JA道北なよろ 代表理事専務、
平成29年 JA道北なよろ 代表理事組合長、
令和3年 北海道厚生農業協同組合連合会 理事、
令和5年 JA道北なよろ 会長理事、ホクレン農業協同組合連合会 代表監事
- 家族構成
両親、妻、息子夫婦、孫3人の9人家族
- 経営概況
稲作(もち米)17ha、小麦2ha、アスパラガス、寒締めほうれん草、スイートコーン、切り花、薬用作物
- 座右の銘
置かれた場所で咲く



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



北海道 最低賃金

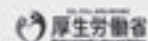
令和6年
10月1日から
時間額

1,010 円

前年比
50円
UP

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

最低賃金に関する特設サイト | 最低賃金に関するお問い合わせは北海道労働局または最寄りの労働基準監督署へ | 賃金引上げ特設ページ | 中小企業事業者の皆さんへ 業務改善助成金 最大600万円を助成



読み応えある記事にワクワク
記事活用で楽しくイキイキ
ぜひご購読ください!
家の光
JAグループ 家の光協会
お申し込みはお近くのJAへ

お申し込みは 営農企画課 Tel 88 - 2232

JAネットバンクを装った フィッシングメール、 サイトにご注意ください

この度、JAネットバンクを装ったフィッシングメールが不特定多数に送信され、JAネットバンクを装ったサイトが開設されていることが判明しました。

JAネットバンクやATMが一時利用停止されていると偽り、利用再開のためにフィッシングサイトへ誘導する内容で、ログインID・パスワード等を不正に取得する手口となっており、町内においてもメールが届いた旨の報告を受けております

本メールとJAバンク(JA・信連・農林中金)は何ら関係ございませんので、本文中のURLにアクセスしないようご注意ください。

JAネットバンクからの送信するメールのドメイン(*)は、
「@webcenter.anser.or.jp」、「@otp-auth.net」、「@janetbank.jp」のみとなりますので、不審なメールにはご注意ください。ようお願いいたします。
※ドメインは全てアルファベット小文字です。

JAネットバンクに関するお問い合わせ

【JAネットバンクヘルプデスク】

フリーダイヤル 0120 - 058 - 098
お問い合わせ時間 平日 9:00 ~ 21:00
土日祝日 9:00 ~ 17:00

【ながめま農業協同組合 本所 金融部】

TEL 0123 - 88 - 2224
E-mail kinyuu@ja-naganuma.or.jp

特別金利 キャンペーン 実施中

住宅ローン

住宅の新築・中古住宅の購入や
修理費用等



期間 令和6年11月29日(金)まで

金利 3年固定 0.5% ▶▶▶ 更に3年間は 0.8%
5年固定 1.1% ▶▶▶ 0.95%
10年固定 1.25% ▶▶▶

※当JAが指定する保証機関の保証が必要となります。
※別途保証機関への保証料がかかります。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

マイカーローン

自動車(新車・中古車)の購入や
車検・修理費用等



期間 令和6年11月29日(金)まで

金利 変動金利 2.1% ▶▶▶ 最優遇 1.55%
固定金利 2.6% ▶▶▶ 2.05%

組合員加入+下記①~④いずれか1つの該当で0.5%引下げ
さらに、過去マイカーローンをご利用いただいた方は0.05%引下げ
①給与・年金振込 ②JAカードローン
③JAカード(一体型) ④公共料金自動引落

詳しくは金融部融資課(TEL88-2224)までお気軽にご相談ください!

ご利用の流れ



農協名 ながぬま農業協同組合
金融機関コード 3170

伝票イメージ

手書きの負荷が軽減

一度に複数件数の
処理が可能

自宅等で印刷可能

お問い合わせ先・ご相談

JAながぬま 本所 貯金課
TEL 0123-88-2224

ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

金融部からのお知らせ

お預入れや、お引出などの窓口取引に便利なQR伝票をご活用ください。



QR伝票作成ツールとは

本サービスは窓口でのお手続きに必要な伝票をご作成いただけるサービスです。伝票作成のデータ入力にご利用いただけるものであり、お手続きが完了するものではありません。

■対象のお取引

お預入れ（入金申込書）、お引出し（払戻請求書）、お振替（払戻請求書）、お振込（振込依頼書）、給与振込（振込依頼書）

POINT
1

手書きが不要（※1※2）

ご自宅・オフィスなどインターネット環境があればお手続きに必要な伝票を作成できます。

POINT
2

取引所要時間の短縮

事前にお取引伝票を作成いただくことで窓口でのお手続きが簡単・スピーディーになります。

POINT
3

一度作成したデータを再利用可能

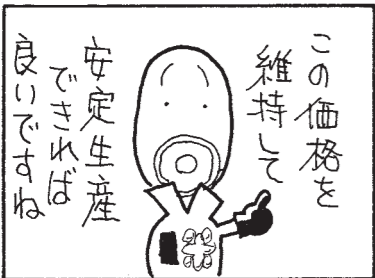
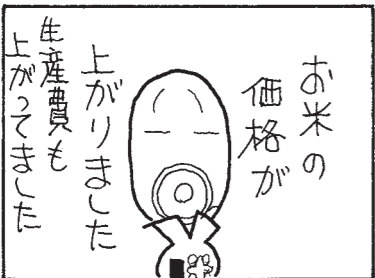
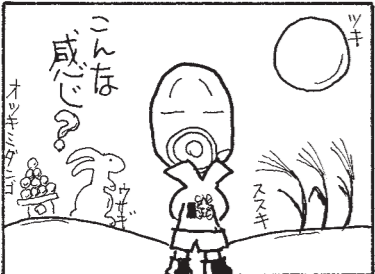
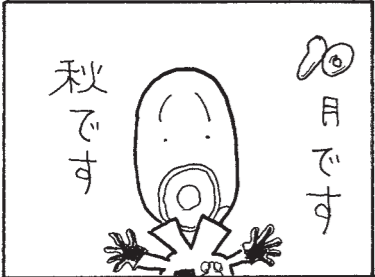
一度作成したデータをお客様のパソコンに保存して、次回ご利用時にアップロードして再利用可能です。

詳しくは QR 伝票作成ツールの商品説明ページへ

<https://www.jabank.org/qr-tool/>



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ロータリーブレード 年内予約のご案内



来シーズンに向けたロータリーブレードの年内予約推進を行います。

JAオリジナルのSP爪・青爪・だんだん爪（株太陽製）および純正爪を予約特価でご提供いたします。

営農コスト低減のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

ロータリーブレードの磨耗状況をご確認の上、交換が必要な方はお申し付けください。

お問い合わせ 本所資材センター ☎ 88 - 2189

日本農業新聞 電子版が **アプリでさらに便利に!**

日本農業新聞ニュースアプリ

その日の記事をすぐにチェック

カテゴリ記事に簡単アクセス

アプリをダウンロードする

お問い合わせ 日本農業新聞 電子版事務局 dkanri@agrinews.co.jp

業務時間変更のお知らせ (11月~3月)

部門・部署		平日	土曜日	日・祝日	
な が め ま 農 協	一 般 業 務	本 所	9:00 ~ 17:00	休 業 ※ 緊急時の連絡先は下記番号へお願いします キャッシュカード盗難・紛失等 ☎0120-944-904 自動車事故受付サポートセンター ☎0120-258-931 レッカー移動・故障時応急対応 ☎0120-063-931	
		北長沼支所	9:00 ~ 16:30		
		舞鶴事業所	9:00 ~ 16:30		
貯 金 ・ 融 資 (窓 口 業 務)	本 所	9:00 ~ 15:30			
現金自動支払機 (ATM)	本 所	9:00 ~ 18:00	9:00 ~ 16:00	休 業	
	北長沼支所	9:00 ~ 16:00	休 業		
	舞鶴事業所	9:30 ~ 16:00			
資 材 セ ン タ ー	本 所	9:00 ~ 16:30	11月 日直対応 9:00 ~ 12:00	休 業	
			12月以降 休業		
機 械 セ ン タ ー			11月~2月 9:00 ~ 17:00	11月は日直対応 9:00 ~ 17:00	
			3月 8:00 ~ 17:00	12月~3月は休業	
F A M O 長 沼	燃 料 セ ン タ ー	事 務 所	9:00 ~ 17:00	17時まで日直対応 9:00 ~ 12:00	日直対応 9:00 ~ 17:00
	ホクレン給油所	長沼給油所	8:00 ~ 18:00	8:00 ~ 17:00	第1・第3・第5日曜日は休業 第2・第4日曜日・祝日は 9:00 ~ 17:00
		北長沼給油所	8:00 ~ 17:00	休 業	休 業
		舞鶴給油所	9:00 ~ 16:30	休 業	休 業
A コ ー プ 店 舗	長 沼 店	10:00 ~ 18:00		10:00 ~ 18:00 定休日は店頭で お知らせします	
A コ ー プ 店 舗	北 長 沼 店	9:00 ~ 17:00	休 業	休 業	

理事会報告 - 第9回 -

《令和6年9月3日開催》

[議案]

- 第1号 令和6年度上半期仮決算報告について(子会社)
- 第2号 令和6年度上半期仮決算報告について(農協)
- 第3号 令和6年産米概算金の設定について
- 第4号 組合と理事との契約承認について
- 第5号 担い手支援事業について
- 第6号 情報システム運用管理規程の一部変更について
- 第7号 個人情報取扱規程及び特定個人情報取扱規程の一部変更について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 主要農産物の生育状況について
3. 酪農収益力強化整備等特別対策事業の実施申請について
4. 令和6年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
5. 内部監査報告(中央会)について
6. 職員に対する定時手当の支給について
7. その他

以上、すべての議案について審議し原案どおり承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,516名(±0)
正組合員 789名(±0)
准組合員 727名(±0)
正組合員戸数 602戸(±0)

農協の動き 8/28~9/3

8月

28日	長沼町農業団体連絡協議会総会	於 農 協
29日	粃バラ施設運営協議会	於 農 協
29日	事業推進員会議	於 農 協
30日	北海道土地連臨時総会	於 札 幌 市

9月

3日	米の館操業開始	於 米 の 館
3日	理事会	於 農 協



地域農業の担い手、 JA青年組織盟友を応援する雑誌

年2回の別冊付録は一つのテーマを
掘り下げ、わかりやすく解説

お問い合わせ 営農企画課 TEL 88-2232

年賀状 喪中はがき

印刷承ります

11月1日より
受付

Aコープながめま店 ☎88-2222



JA だより ながめま
2024. 10月号 No. 368

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながめま農業協同組合 営農部営農企画課
TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp